

知りたい！気になる！

継続募集中！

LGBTQ+のこと

～シゲ先生と一緒に考えてみよう～

日常の様々な場面で「LGBTQ+」という言葉を見聞きするようになりました。

性はすべての人に関係するものであり、そのあり方は一人ひとり異なります。

誰かと性について話すことは恥ずかしいことでもなく、

「これが普通だ！」と答えを見つけることでもありません。

もっと気軽に、多様な性について一緒に考えてみませんか？



講 師

すずき しげよし

鈴木 茂義 さん

プライドハウス東京レガシースタッフ

上智大学基盤教育センター非常勤講師

自治体の相談員

元公立小学校主任教諭

常設のLGBTQ+センター「プライドハウス東京レガシー」の理事・スタッフ。

専門は特別支援教育、教育相談、教育カウンセリングなど。

1978年茨城県生まれ。文教大学教育学部卒業。

教員20年の小学校教諭を経て現在に至る。教育研究会や教育センターでの講師経験も多い。

LGBTQ+や教育に関する講演活動を行い、

性の多様性やより良い「生き方」「在り方」について参加者と共に考えている。

日 時 令和4年7月29日（金）午後3時～5時

会 場 武藏野プレイス 3階スペースC

対 象 中学生以上の青少年 20歳になった年の年度末までの方

定 員 15名

定員に達するまで
先着受付中！武藏野プレイス
HP

参加費

無料

6月は『プライド月間』です

「プライド（Pride）」という単語は、英語の一般名詞で、「誇り・矜持」を意味しますが、それだけではなく、「セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）のパレード」を指すものとして、広く国際的に認知されています（パレード前後のイベントを含めた総称として使われることもあります）。6月が「プライド・マンス（プライド月間）」と呼ばれている背景には、1969年6月28日、ニューヨークのグリニッジ・ヴィレッジ地区にある「ストーンウォール・イン（Stonewall Inn）」というゲイバーで起こった警察官とゲイたちの暴動「ストーンウォール事件」が関わっています。この暴動はその後のゲイ解放運動、セクシュアル・マイノリティの人権運動へつながっていく転換点として、その名を歴史に残すことになりました。

事件の翌年、1970年6月の最終日曜日には「ストーンウォール事件」の1周年を記念するデモ行進がニューヨークをはじめアメリカ各地で行われました。その後、世界中に広がり、毎年6月を中心に行われる世界各地でプライド・パレードが開催されています。

引用・参考：特定非営利活動法人 東京レインボープライドHP

応募方法

下記、**参加申込書①～⑥**の内容を記入のうえ、いずれかの方法でお申し込みください。

■メール gr-youth@musashino.or.jp

メールでのお申し込みは[こちらから▶](#)



■窓口 武蔵野プレイス地下2階スタジオ受付に**参加申込書**を持参 **※水曜休館**

お問合せ

武蔵野プレイス 青少年活動支援係 (0422-30-1902)

- ・新型コロナウィルス感染症の今後の状況により、中止となる可能性があります。
その場合は武蔵野プレイスHP等でお知らせします。
- ・新型コロナウィルス感染症対策のため、開催当日は検温、手指消毒、マスク着用、講座参加チェックシートの記入にご協力をお願いいたします。

知りたい！気になる！LGBTQ+のこと～シゲ先生と一緒に考えてみよう～ 参加申込書

(フリガナ)

- ①氏名 [] ②年齢・生年月日 [年 月 日]
③住所 []
④メールアドレス [] ⑤電話番号 []
⑥在学・在勤先 (中学生・高校生・大学生・専門学生・その他) []

※二重線枠内事務欄記入不要

お申込みいただいた個人情報は、武蔵野文化生涯学習事業団が主催する講座の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはございません。

受付者(日付も記入)	送受信